



2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年9月29日

上場会社名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9265 URL <https://www.yhchd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 山下 尚登
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 吉田 弘幸 (TEL) 092-402-2922
 四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第1四半期の連結業績(2023年6月1日~2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	14,021	4.1	196	△24.4	213	△22.3	162	△1.8
2023年5月期第1四半期	13,471	4.5	259	28.5	274	24.3	165	14.5

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 174百万円(△27.4%) 2023年5月期第1四半期 240百万円(46.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	63.53	—
2023年5月期第1四半期	64.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第1四半期	22,586	7,976	35.2
2023年5月期	24,568	7,924	32.2

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 7,960百万円 2023年5月期 7,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	48.00	48.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,215	△6.8	641	△44.5	682	△43.4	464	111.8	181.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年5月期1Q	2,553,000株	2023年5月期	2,553,000株
2024年5月期1Q	114株	2023年5月期	114株
2024年5月期1Q	2,552,886株	2023年5月期1Q	2,552,886株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年6月1日～2023年8月31日）におけるわが国の状況は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症へ移行されたことにより、景気は緩やかな回復傾向となっております。その一方で、エネルギー価格・原材料価格の高騰による物価上昇などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界におきましては、3年におよぶコロナ禍において、診療報酬の特例的な上乘せ、病床確保料の支給、感染防止対策等の費用補助、ワクチン接種・検査費用の公費負担など、医療提供体制維持のために継続的な支援が行われてきた中、診療や検査の増加等もあり、医療機関の医業収益は改善の傾向が見受けられます。一方、「物価やエネルギー費などの急騰」や「賃金増の原資確保」により医業費用が増加傾向にある中、2024年度の次期診療報酬改定の基本方針策定に関する議論が始まっております。医療機関の経営状況は依然として厳しい状況が続いていることから、安定的な医療提供体制の確保への対応が求められています。

このような状況の中、当社グループでは、コロナ禍において営業活動にまだ一定の制約はあるものの、グループの事業会社7社が、各々の営業活動を行ってまいりました。中核事業である医療機器販売業においては、前年度末からの需要等の影響により検査用機器等の設備投資需要が前年同期よりも増加したこと、また、検査・手術件数の回復による診療材料の売上が回復・増加したことによる医療機器消耗品が増加したこと等により、当第1四半期連結累計期間における売上高は140億21百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は1億96百万円（前年同四半期比24.4%減）、経常利益は2億13百万円（前年同四半期比22.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億62百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

なお、2023年7月25日付で、ネットワーク構築、ソフトウェア受託開発等を事業内容とする株式会社クロスウェブの全株式を取得し、連結子会社としました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高はセグメント内の内部売上高を含んでおります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、一般医療機器備品やMR I、CT等の画像診断機器や放射線診断装置及び超音波診断装置の売上により15億7百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。一般消耗品分野では、汎用消耗品及び手術関連消耗品の売上により61億59百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、電子内視鏡手術システム等の内視鏡備品や、腹腔鏡システム等のサージカル備品、血管内治療、内視鏡関連消耗品の売上により34億25百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。整形、理化学、眼科、皮膚・形成、透析により構成される専門分野では、透析関連機器や整形外科関連の売上により26億8百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、設備保守メンテナンスの売上により2億96百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。

この結果、医療機器販売業の売上高は139億97百万円（前年同四半期比4.1%増）、セグメント利益は4億55百万円（前年同四半期比6.5%減）となりました。

医療機器販売業の売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額	前年同期比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
一般機器分野	1,435	10.7	1,507	10.8	71	5.0
一般消耗品分野	5,899	43.9	6,159	44.0	259	4.4
低侵襲治療分野	3,411	25.3	3,425	24.5	14	0.4
専門分野	2,428	18.1	2,608	18.6	179	7.4
情報・サービス分野	270	2.0	296	2.1	26	9.8
小計	13,446	100.0	13,997	100.0	551	4.1

② 医療機器製造・販売業

医療機器製造・販売業におきましては、主としてグループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売しており、売上高は73百万円（前年同四半期比3.0%増）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期比47.8%増）となりました。

③ 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は17百万円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期比663.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は225億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億82百万円減少いたしました。流動資産は、主に現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べて19億27百万円減少し、175億89百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて55百万円減少し、49億96百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、電子記録債務の減少等により、前連結会計年度末に比べて20億34百万円減少し、146億9百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて51百万円増加し、79億76百万円となり、自己資本比率は35.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想につきましては、2023年7月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,825	3,535
受取手形、売掛金及び契約資産	10,492	10,748
商品	2,891	2,875
その他	323	445
貸倒引当金	△15	△16
流動資産合計	19,516	17,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,646	3,646
減価償却累計額	△2,095	△2,123
建物及び構築物（純額）	1,551	1,523
土地	1,649	1,649
その他	817	818
減価償却累計額	△691	△691
その他（純額）	125	126
有形固定資産合計	3,326	3,298
無形固定資産		
のれん	56	83
その他	55	52
無形固定資産合計	111	135
投資その他の資産		
投資有価証券	1,015	1,025
関係会社株式	22	22
破産更生債権等	612	557
その他	576	514
貸倒引当金	△612	△557
投資その他の資産合計	1,614	1,562
固定資産合計	5,052	4,996
資産合計	24,568	22,586

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,793	7,952
電子記録債務	6,686	5,320
未払法人税等	334	19
賞与引当金	693	103
その他	632	668
流動負債合計	16,139	14,063
固定負債		
長期借入金	-	17
退職給付に係る負債	234	233
その他	270	294
固定負債合計	504	545
負債合計	16,644	14,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	494	494
資本剰余金	627	627
利益剰余金	6,306	6,345
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,427	7,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	563	573
退職給付に係る調整累計額	△84	△80
その他の包括利益累計額合計	479	493
非支配株主持分	17	15
純資産合計	7,924	7,976
負債純資産合計	24,568	22,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	13,471	14,021
売上原価	11,625	12,161
売上総利益	1,846	1,859
販売費及び一般管理費	1,586	1,663
営業利益	259	196
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	5
仕入割引	3	3
受取手数料	6	5
その他	2	7
営業外収益合計	17	22
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	2
手形売却損	1	1
持分法による投資損失	-	0
その他	0	0
営業外費用合計	2	5
経常利益	274	213
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	54
条件付対価受入益	6	-
特別利益合計	6	54
税金等調整前四半期純利益	281	268
法人税、住民税及び事業税	11	19
法人税等調整額	106	88
法人税等合計	118	108
四半期純利益	163	160
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	165	162

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	163	160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71	10
退職給付に係る調整額	5	3
その他の包括利益合計	77	13
四半期包括利益	240	174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242	176
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
一般機器分野	1,435	—	—	1,435	—	1,435
一般消耗品分野	5,899	—	—	5,899	—	5,899
低侵襲治療分野	3,411	—	—	3,411	—	3,411
専門分野	2,428	—	—	2,428	—	2,428
情報・サービス分野	270	—	—	270	—	270
その他	—	71	—	71	—	71
内部売上高	△50	—	—	△50	△11	△62
顧客との契約から生じる 収益	13,395	71	—	13,466	△11	13,455
その他の収益	—	—	16	16	—	16
外部顧客への売上高	13,383	71	16	13,471	—	13,471
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	0	—	11	△11	—
計	13,395	71	16	13,483	△11	13,471
セグメント利益	487	5	0	493	△233	259

(注)1. セグメント利益の調整額△233百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△230百万円、棚卸資産の調整額△0百万円、のれん償却額△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年6月1日 至 2023年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
一般機器分野	1,507	—	—	1,507	—	1,507
一般消耗品分野	6,159	—	—	6,159	—	6,159
低侵襲治療分野	3,425	—	—	3,425	—	3,425
専門分野	2,608	—	—	2,608	—	2,608
情報・サービス分野	296	—	—	296	—	296
その他	—	73	—	73	—	73
内部売上高	△67	—	—	△67	△0	△67
顧客との契約から生じる 収益	13,930	73	—	14,004	△0	14,003
その他の収益	—	—	17	17	—	17
外部顧客への売上高	13,930	73	17	14,021	—	14,021
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	13,930	73	17	14,021	△0	14,021
セグメント利益	455	7	1	464	△268	196

(注) 1. セグメント利益の調整額△268百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△263百万円、棚卸資産の調整額△1百万円、のれん償却額△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。